



自分も大切に みんなも大切に

わたしたちの心を育ててくれるふるさと

あなたが今、住んでいるところがふるさとです。

ふるさとは一生あなたをはげまし続けてくれます。

わたしのふるさとに住む人びと、生活、自然や文化、それらはすべて、わたしのたからものです。

それは、日本に住む外国人も同じです。茨城県に住む外国人が茨城県を、そして古河市を第二のふるさとのように感じてもらえるよう、外国人とかかわっていきたくらいですね。



茨城県にいる外国人は何人？

現在、約220万人の外国人が日本に暮らしています。そのいます。

(2009年9月4日政府公表)

アメリカ独立記念日(7月4日)

茨城県にいる外国人は何人？

令和2年の国勢調査によると、57,819人の外国人の方が茨城県に在住しているそうです。

また、日本に在住する外国人の方は、どんどん数がふえています。私たちは、その人達にどのように接していけばよいのでしょうか？誰もが考える必要があります。

※外国人の人口数は、国勢調査実施当時の数字です。



人権教育の日常化をめざして

元気なあいさつ(声かけ)からはじめましょう。

ぽかぽかことば(あったかことば)を使うと、

相手のきもちが、元気になるります。

ありがとう・よかったね・うれしいな

ごめんなさい・ごめんね

なるほど・そうなんだ など

ちくちくことばは やめましょう。

相手や、聞いている人が嫌な思いになります。

ていねいな対応を心がけましょう。相手の様子を

理解、確認したうえで声をかけることができるといいです

ね。

がんばれ！！ どうしたの？ だいじょうぶ？

など

